

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-イ	国際的な災害協力の推進	施 策	①国際的な災害支援体制の構築
			施策の小項目名	〇リスク分散拠点としてのクラウドデータセンターの利活用促進
主な取組	クラウドデータセンターの利用促進		対応する成果指標	防災分野における研修会に参加した講師人数
施策の方向	・ 本土から遠隔にあることで本土との同時被災のリスクが低い本県の地理的な優位性を生かし、これまでに整備されてきた県内のクラウド環境やその活用事例等を国内外の企業に周知し、リスク分散拠点としての役割に注視した本県のクラウドデータセンターの利活用促進に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施 主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
クラウドコンピューティング等の新たな高付加価値サービスの創出や、国内外企業データのバックアップ・リスク分散化拠点を形成するため、クラウドデータセンターの利用を促進する。	県,民間事業者	沖縄情報通信センターの利用促進		
		新規利用ラック数（累計）		
		10ラック	10ラック(20ラック)	10ラック(30ラック)
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

—

主な財源

実施方法

R5年度
決算額

R6年度
決算見込額

—

—

令和6年度活動内容

民間事業者によるクラウドデータセンターの利用を促し、県内に情報資産の集積を図った。

(単位：千円)

予算事業名

—

R7年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

令和7年度活動計画

民間事業者によるクラウドデータセンターの利用を促し、県内に情報資産の集積を図る。

活動指標名

新規利用ラック数（累計）

R6年度

進捗状況

活動概要

実績値

R4年度

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

8ラック

0ラック

8ラック

10ラック（30ラック）

80.0%

概ね順調

沖縄情報通信センターサーバーラックの利活用を図るためデータセンター運営事業関係者と毎月打合せを行い、データセンターの営業状況の情報共有や利用が見込まれる企業へのセールス強化に向けた意見交換を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標10ラックに対し実績8ラック（達成割合80%）とだったことから、進捗状況は「概ね順調」と判断した。技術革新による機器の高集積化やシステムの集積化が進み、比較的省スペースでラックが利用可能となったことが考えられる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案

反映状況

○県内クラウド環境や沖縄県の地理的優位性や県内クラウド環境の活用事例等を、ResorTech EXPO等の展示商談会で国内外の企業に周知することで、クラウドデータセンターの利用促進を図る。
○沖縄に立地を検討する企業に対しては、DCの入居が円滑になるよう、DC運営事業者が設置するラックを利用する方法のみではなく、入居企業でラックを調達する利用方法についても提案を行っていく。

○県内クラウド環境や沖縄県の地理的優位性や県内クラウド環境の活用事例等を、各展示商談会等で国内外の企業に周知し、クラウドデータセンターの利用促進を図った。
○沖縄に立地を検討する企業に対しては、DCの入居が円滑になるよう、DC運営事業者が設置するラックを利用する方法のみではなく、入居企業でラックを調達する提案を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	クラウドデータセンターを含む県内クラウド環境や県の施策を周知することで、国内外企業にクラウドデータセンターの利用を促す必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	クラウドデータセンターを含む県内クラウド環境や県の施策を周知するため、国内外企業が入居しているIT津梁パークに対してセールス活動を行う等各企業のリスク分散化に取り組む。